

国語科学習指導案

福山立戸手小学校 横田 佳世子

1 日 時 令和4年10月24日（月）第5校時

2 学 年 第2学年1組 男子11名 女子12名 計23名

3 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読み，それをいかして書こう

「馬のおもちゃの作り方」「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

（光村図書 「こくご二下 赤とんぼ」）

4 単元について

（1）単元観

本単元は，小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第1学年及び第2学年の〔思考力，判断力，表現力等〕「B書くこと」（1）イの指導事項「自分の思いや考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」，「C読むこと」（1）アの指導事項「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えること。」を受けて設定している。

本単元では，「馬のおもちゃの作り方」（読むこと）と「おもちゃの作り方をせつめいしよう」（書くこと）の二つの教材文を連続して扱うこととする。教材文「馬のおもちゃの作り方」は，おもちゃの作り方を述べた説明的な文章である。おもちゃ作製の手順に沿って文章と写真で示すことで，おもちゃが出来上がる順序が捉えやすくなっている。そこで，「まず」「次に」などの順序を表す言葉に着目しながら「馬のおもちゃの作り方」を読み，必要な長さや数，向きや位置など，正しく伝えるためにはどのような情報が必要なのか見つけた後に，自分でおもちゃの作り方の説明書を書くという活動に発展させていく。「おもちゃの作り方をせつめいしよう」は，事柄の順序の一つである作業手順が読み手に分かるようにおもちゃの作り方の説明書を書く教材である。学習したことを生かして，分かりやすく説明書を書くためには，順序よく説明することが伝えたいことを相手に分かってもらうために重要であることに気付かせたい。

このように，本教材は作業手順を示した説明的な文章を読んで分かりやすい書き方を学び，学んだことを使って実際に文章を書くことで効果的に資質・能力を身に付けさせることができると考える。

（2）児童観

本学級の児童は，これまでに「たんぼぼのちえ」「どうぶつ園のじゅうい」等の時間の順序に着目して，説明的な文章の内容を読む学習をしてきている。「書くこと」の実態としては，経験したことを相手に伝えるように文章にすることが苦手な児童が多く，語彙の不足や読み返す習慣のなさからか，同じ言葉を繰り返し書いてしまうなど，読み手の立場に立ち，分かりやすく書くことに課題が見られる。

また，自分の気付きや意見を持ち，伝えることに自信がない児童が多く，友達と意見を交流しながら，考える時間を十分に設定することが必要である。

（3）指導観

指導に当たっては，単元のゴールを「自分の選んだおもちゃの作り方を説明する文を書く」と設定し，教材文「馬のおもちゃの作り方」を読んで見つけた，分かりやすく説明するための工夫を使って，生活科で1年生に紹介するおもちゃの作り方を書く活動を最後に取り入れる。また，付けたい力（分かりやすく説明する技を見つけ，その技を使い，自分でおもちゃの作り方を書く力をつける）を児童と共有しながら進めていく。

そこで，単元を通して以下の三つの工夫を行っていく。

- ①児童が自分の気付きや意見をもてるようにするために，大切だと思う文章に線を引かせ，自分の考えを明らかにする。その際，必ず理由を述べさせたり，叙述をもとに自分の考えを発表させたりする。また，友達考えから自分の考えを伝えるような話型を掲示しておく。
- ②文章の構造や分かりやすく説明するための工夫に気付かせるために，文章の順に並べ替えをさせたり，二つの例文を比べたりしながらどんな説明の仕方がよいか考えさせる。

③生活科「おもちゃを作ってみよう」と関連させ、1年生を対象に「おもちゃランドを開こう」という活動においておもちゃの作り方を紹介するために、1年生にも分かりやすい説明書を書く方法を考えたい、という学習への意欲をもたせる。

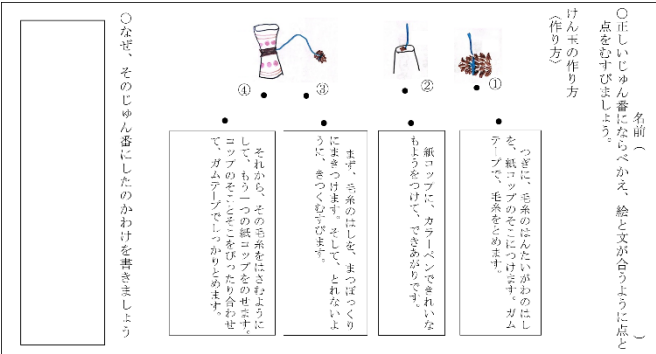
5 単元の目標

- 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕 (2) ア
- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 B (1) イ
- 事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) ア
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

6 単元の評価規準

おもちゃの作り方を説明する文章を読んで説明に必要な情報を見付け、作業手順が分かるように分かりやすく説明する文章を書くことを通した指導【言語活動例 B (2) ア及びC (2) ア】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2) ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B (1) イ) ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えている。 (C (1) ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。

<評価の具体及び手立て>

	評価規準【「おおむね満足できる」状況（B）】	「努力を要する」状況（C）と判断した児童への指導の手立て																		
<p>思考・判断・表現</p>	<p>「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えている。</p> <p>ワークシート</p>  <p>○なぜ、そのじゆん番にしたのかわけを書きましよう</p> <p>○正しいじゆん番にならべかえ、絵と文が合うように点をもつてみましょう。</p> <p>けん太の作り方 (作り方)</p> <p>① つぎに、糸糸のふんたいがわのほしを、紙コップのぞこにつけます。ガムテープで、毛糸をとめます。</p> <p>② 紙コップに、カラーペンできれいなもようをつけて、できあがりです。</p> <p>③ まず、糸糸のほしを、まっぼつくりにおまっつけます。そして、とれないように、まっつけます。</p> <p>④ それから、その糸糸を、はきむようにして、もう一つの紙コップをのせます。コップのぞこを、まっつけます。ガムテープで、毛糸をとめます。</p> <p>B：正しく並び替えができる。 A：どうしてその順番にしたのか相手に伝えることができる</p> <table border="1" data-bbox="469 898 1098 1155"> <thead> <tr> <th>これで</th> <th>さいごに</th> <th>それから</th> <th>つぎに</th> <th>まず</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="469 1189 1086 1397"> <thead> <tr> <th>楽しみ方</th> <th>作り方</th> <th>ざい料と道ぐ</th> <th>前書き</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	これで	さいごに	それから	つぎに	まず						楽しみ方	作り方	ざい料と道ぐ	前書き					<p>「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業手順に沿って短冊を並べ替えることができない。 →短い文で提示したり、順序を表す言葉に着目できるように印をつけたりする。 作業手順に沿って短冊をは並べ替えられるが、説明はできない。 →「まず」「つぎに」等の接続詞だけでなく、自分でやってみたり、写真と結びつけたりすることで順序には連続性があることに気付かせる。 <p>「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くことができない。または書けるが構成が考えられない。 →最初の一文を短冊に書かせ、並び替えを行う。 接続詞だけ書いてあるワークシートや、文章構成を四つのまとまりに分けられるようにしたワークシートを活用し、実態に応じて活動を進められるようにする。
これで	さいごに	それから	つぎに	まず																
楽しみ方	作り方	ざい料と道ぐ	前書き																	

7 指導と評価の計画（全16時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知	思	主	評価規準・ 評価方法等
		<p><生活科> 教科書を見ながら，馬のおもちゃを作る。（大事だ と思う文章に線を引きながら作る。）</p>				
一	1	<p>1 単元のめあてをつかみ，学習の見通しを持つ。</p> <p><単元のゴール> 自分の選んだおもちゃの作り方を説明する文を書いて1年生に紹介する。</p> <p>(1) 「馬のおもちゃの作り方」を読みながら，学 習課題をつかむ。 ①実際に作った感想を交流する。 ②単元めあてと付けたい力を確認し，単元計画を 作る。</p>				
	2	<p><単元のめあて> 分かりやすく書く技を見つけて，読んで作れる！説明書を書こう。</p> <p><付けたい力> 分かりやすく説明する技を見つけ，その技を使い，自分でおもちゃの作り方を書く力 を付ける。</p> <p><単元計画> ①「馬のおもちゃの作り方」を読んで，分かりやすく書く技を見つける。 ②分かりやすく書く技を使って，自分が選んだおもちゃの説明書を書く。 ③友達の説明書を読んで，おもちゃを作る。 ④説明書の分かりやすいところを伝える。 ◎見通しを持たせるために，教師が作成した説明書のモデルを提示し，ゴール像を確認 する。</p>				
二	3	<p>2 「馬のおもちゃの作り方」を読んで，分かりやす く書く技を見つける。</p> <p>(1) 文章の構成や内容の順序を読み取り分かりや すく説明するための工夫（技）を見つける。 ①「馬のおもちゃの作り方」を音読し，文章全体の 構成を捉える。</p> <p>☆ <前書き> <材料と道具> <作り方> <楽しみ方> の組み立てで書く技。</p> <p>◎書くときには <前書き> <材料と道具> <作り 方> <楽しみ方> の順番でないといけないのか考え させる。</p>				

<p>4 5 本時</p>	<p>(2) 「馬のおもちゃの作り方」の文章の内容に関わる作業手順の工夫を捉える。＜本時＞ ①＜作り方＞を読んでどんな工夫があるか考える。</p> <p>☆順序の分かる言葉を使う技。(まず、次に、それから、最後に、これで)</p> <p>☆最初に何をやるのか教える技。</p> <p>☆「しゃしんのように」と説明する技。</p> <p>◎短冊を並び替えて、順序を表す言葉があることの良さに気付かせる。</p> <p>◎最初に何をやるのか教える技に気づかせるために、「まず、馬の体や足になる部品を作ります。」の文がある場合とない場合を比べる。</p> <p>◎ペア・グループ学習を効果的に仕組み、自分の考えをもたせる。</p>	<p>○</p>		<p>[知識・技能] ワークシート ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>
<p>6 7 8</p>	<p>②「馬のおもちゃの作り方」の文章に、長さや数、場所、向きがあると分かりやすいことに気付く。</p> <p>☆長さを表す言葉(○センチメートル)を使う技。</p> <p>☆数を表す言葉(○つ)を使う</p> <p>☆場所を表す言葉(はし、上)を使う技。</p> <p>☆向きを表す言葉(よこむき)を使う技。</p> <p>☆形を表す言葉(細長い四角形)を使う技。</p> <p>◎部品を作ったり、長さが無い場合と比べて考えたりすることで、長さや数を書くことより分かりやすいことに気付かせる。</p> <p>◎馬の体を作ったり、場所や向きが無い場合と比べて考えたりすることで、向きや場所を書くことより分かりやすいことに気付かせる。</p> <p>◎馬の足や顔を作ったり、形が無い場合と比べて考えたりすることで形を書くことより分かりやすいことに気付かせる。</p>	<p>○</p>		<p>[知識・技能] ワークシート ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>

	9	<p>③「けん玉の作り方」を音読し、文章全体の構成を捉える。</p> <p>T：馬のおもちゃの作り方と似ているところがありますか。</p> <p>C：・四つのまとまりに分けられていて、順序が同じです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順序を表す言葉が使われている。 ・絵がある。 ・数が使われている。 ・遊び方と楽しみ方が違う。 ・作り方が四つのまとまりに分けられている。 		○	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えている。
三	10 11 12 13 14	<p><u>3 分かりやすく書く技を使って、自分が選んだおもちゃの説明書を書く。</u></p> <p>(1) 生活科の時間に考えたおもちゃから、説明するおもちゃを選ぶ。</p> <p>(2) 分かりやすく書く技を使って説明書を書く。</p> <p>①書き技を使って、〈作り方〉の説明書を書く。</p> <p>②<前書き> 〈材料と道具〉 〈楽しみ方〉 〈遊び方〉の説明書を書く。</p> <p>◎分かりやすく書く技を掲示し、考えるヒントにさせる。</p>		○	<p>[思考力・判断力・表現力]</p> <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 <p>○ [主体的に学習に取り組む態度]</p> <p><u>児童の様子</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。
四	15 16	<p><u>4 友達の説明書を読んで、おもちゃを作る。</u></p> <p>(1) 友達が書いた文章を読みながらおもちゃを作り、文章の見直しをする。</p> <p><u>5 友達の説明書の分かりやすいところを伝える。</u></p> <p>T：友達が書いた説明文にはどんな工夫がありましたか？</p> <p>C：・順序を表す言葉が使われているから、流れが分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの部分をくっつけるのか分かりやすい。 ・長さが正確に書いてあって作りやすい。 <p>◎工夫のチェックシートを作成し、交流させる。</p> <p><u>6 付きたい力が身に付いたか自己評価する。</u></p>			

8 本時の学習（5/16時）

(1) 本時の目標

事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

(2) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 ○主な発問 ・予想される児童の反応 ※「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準と 評価方法
1 既習事項を想起する。	○「馬のおもちゃの作り方」はいくつのまとまりに分けられましたか。」 ・四つに分けられる。（前書き（話題）・材料と道具・作り方・楽しみ方） ※作り方の中には、説明するうえでたくさんの工夫の秘密が隠されていることを児童に伝え、意欲を高める。	
2 課題を設定する。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 分かりやすい説明の工夫（わざ）を見付け、伝えよう。 </div>	
3 <作り方>（P41, 8行目～p43）を音読し、作り方の工夫を見つけ、伝える。	○「<作り方>の説明を読んでどんな工夫（わざ）がありますか。」 ・「まず」、「次に」、「それから」「最後に」という順序を表す言葉が使われている。 ・最初に何をやるか説明している。 ・写真が入っている。	[知識・技能] 児童の様子・ワークシート ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
4 順序を表す言葉が入った文を並べ替える。	○順序を表す言葉が入った文を並べ替える。 「この文章を並べ替えよう。どうしてこの順番に並べ替えたのか理由も言いましょう。」（まず、次に、それから、最後に、これで） （自己解決→グループ） <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ☆順序の分かる言葉を使う技。（まず、次に、それから、最後に、これで） </div>	
	○「なぜ、最初の文に何をやるのか書いてあるのでしょうか。」 ・何をやるのかイメージできるから。 ・最初に大きさや形を予想ができるから。 ※最初の文があるものかないものを比べさせて良さを見付けさせる。 ※二つの文（最初に何をやるのか説明がある文とない文）を対比して考えることで、接続語の後に、どの部品を作るか説明している意図を児童に考えられるようにする。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ☆最初に何をやるのか教える技。 </div>	
	○「一番大切な写真はどれですか。理由も言いましょう。」 ・7枚目の写真です。理由は、文で写真のようにと説明しているからです。 ・その写真がないと作業できないからです。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ☆「しゃしんのよう」と説明する技。 </div>	
	※根拠をもって写真を選択させることで、説明する上での写真の重要性に気付かせる。	
5 振り返りをする。	・説明するときは、順序を表す言葉を使いたい。 ・写真の撮り方を工夫したい。 ・先に何をやるか伝えてから説明する。 ・この言葉があった方が順番が分かりやすい。	

(3) 板書計画

写真 写真 写真 写真 写真

- ・ 一番大切な写真はどれですか。
- ・ 全部の部品が分けてのついている。
- ・ おなかとせなかの、付け方がのついている。
- ・ 写真のようにと説明して、その写真がないと作業できない。
- ・ 最後の完成した写真、出来上がりをイメージできるから。

馬のおもちやの作り方

め

分かりやすいせつ明のし方のわざを見つけ、伝えよう

「じゃしんのよように」とせつ明するわざ

さいしよに何を作るのか教えるわざ

「どちらの文が分かりやすいですか。」

まず、馬の体や足になるぶひんを作ります。空きばこから、四センチメートルずつ四つ切り出しましょう。そのうち三つが、馬の体になります。

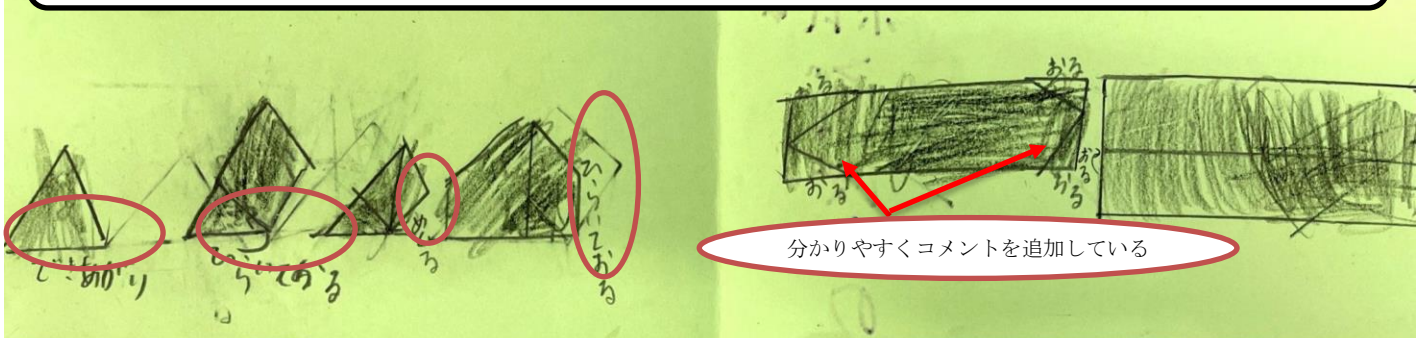
まず、空きばこから、四センチメートルずつ四つ切り出しましょう。そのうち三つが、馬の体になります。

じゅんじよの分かる言葉を使うわざ

9 評価の実際

A評価の児童

事柄の順序のわかる言葉を使って説明書を書き、絵に分かりやすく簡単な言葉で付け加えをしている。



つこれから、しんぶん紙

一まいで作れる紙で、ぼう

の作り方をせつ明します。

作り方

まず、しんぶん紙を細長

くかめるようにおろします。

きして、おなたををまら

ます。

つぎに、ひろげた糸にそ

を四かしがあります。そして半

ります。

そをねから、じゃしん

ります。そして、お

をめぐります。そのつぎ

同じよにひらいてお

べらのほうをめぐ

さいしよに、半

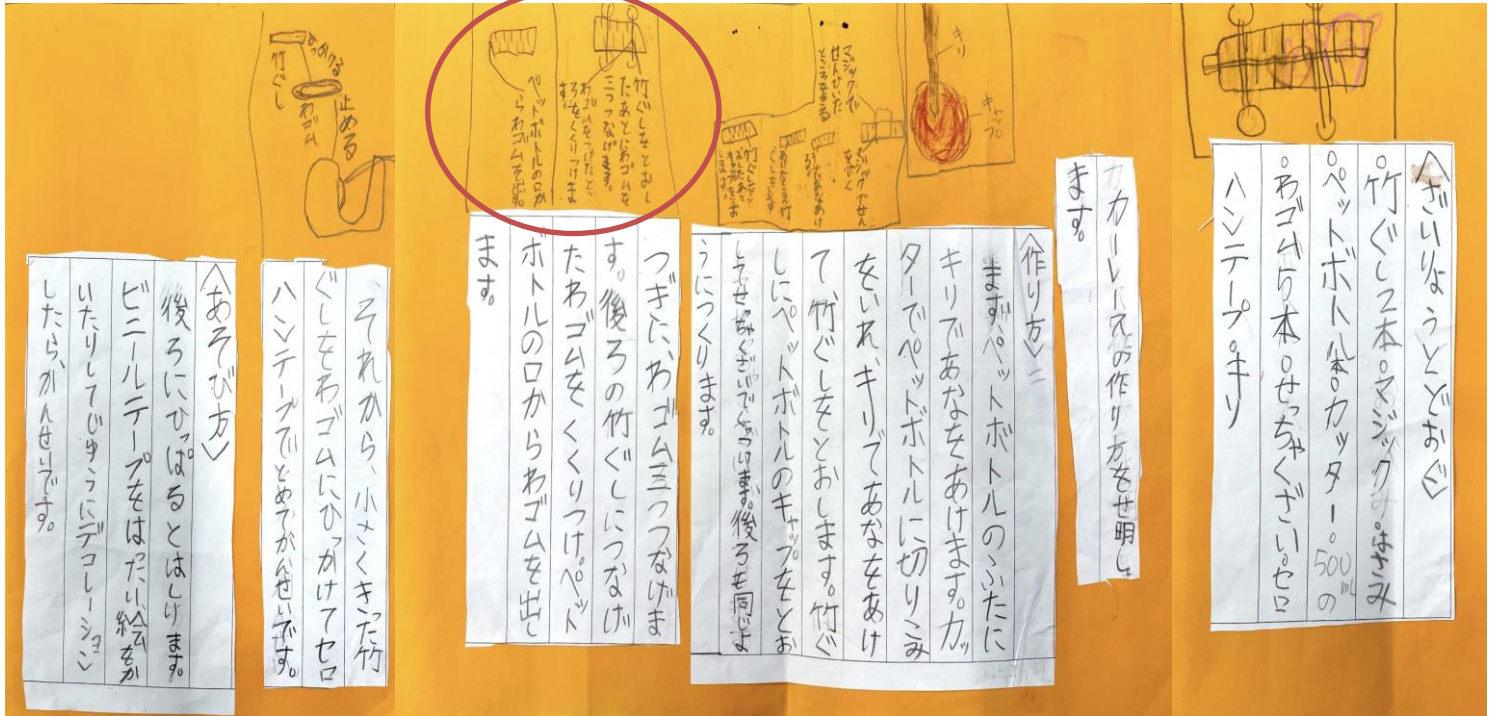
で、糸で、ぼう

す。

B評価の児童

事柄の順序のわかる言葉を使って、簡単な構成で説明書を書くことができています。

絵にコメントを入れているが、説明が簡潔でないため分かりにくい



本単元を終えて、A評価の児童は5人、B評価の児童は12人、C評価の児童は6人であった。今後は、順序を表す言葉を使う等の条件を付けて作文を書くことに取り組んでいく。C評価の児童は、順序を表す言葉が入ったワークシートを活用し、短い文を書くことを反復練習していく。

10 成果と課題

<成果>

- ①導入で最初に文を読みながら馬のおもちゃを作ること、文章に必要な情報がたくさん書いてあることに気付く児童が多かった。(例：数字、絵)
- ②生活科と関連させたことで1年生に説明するためには、どのような書き方をすればいいのかより伝わるのか考えることができた。
 - ・〈前書き〉〈材料と道具〉〈作り方〉〈楽しみ方〉
→何を作るのか始めに分かる
 - ・〈楽しみ方〉〈前書き〉〈材料と道具〉〈作り方〉
→遊び方や楽しみ方が分かり、興味を持って読んでもらうことができる
- ③分かりやすく説明する技をグループで考える活動を取り入れることで、しっかり友達と話し合いながら考える児童が増え、実際に自分で選んだおもちゃを書く際に技を取り入れて書いている児童が多かった。
- ④書く活動が苦手な児童がいたが、最初の一文を短冊に書かせ、並べ替えを行った。最初の一文と一緒に考えることで、絵に数字を書き加え表していた。

<課題>

- ①おもちゃの作り方を書く活動で、順序を表す言葉を使っていない児童がいた。
→順序を表す言葉を使うことのよさを考えた場面では、実際に順序を表す言葉を使って簡単な文章作りを行うことでより、よさが実感できるのではないかと考える。
- ②おもちゃの説明書を書くだけで満足している児童がいたので、実際に自分の文章を読んで間違いに気付いたり、修正したりする力を付ける。
→日ごろから作文や簡単な文を書いて、自分で見直すことを習慣付ける。
- ③教材文から分かりやすい説明の工夫を見付ける活動では、自力解決した後にグループで話し合う流れで進めていった。
→自分の考えと友達のことを比べながら話したり、友達の考えを聞いて理解したりする児童がいたが、自分の考えをもてない児童もいた。